

工事履行報告書 (中間前金払用)

報告日：平成 20年 12月 25日 (契約日から 129日)

工事名：内径300耗水推進・内径150污水管布設工事

工期：平成 20年 8月 19日 ~ 平成 21年 3月 19日 (213日間)

請負者名：●●●●建設株式会社 代表取締役 ●●●● 印

② 工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。

報告日現在の進捗率を記載

① 工期の2分の1を経過していること。
(213日÷2=106.5日)

工種等													自動計算		自動計算		備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	見積額① (円)	構成比② (%)	進捗率③ (%)	出来高金額④ (円)	
内径300耗水推進工	予定												36,494,148	72.29	60.00	21,896,488	
	実施																
内径150耗水布設工	予定												1,202,557	2.38	100.00	1,202,557	
	実施																
人孔築造工	予定												3,355,066	6.65	0.00	0	
	実施																
塩ビ樹設置工	予定												357,793	0.71	100.00	357,793	
	実施																
取付管工	予定												101,664	0.20	60.00	60,998	
	実施																
立坑工	予定												3,036,071	6.01	100.00	3,036,071	
	実施																
薬液注入工	予定												427,204	0.85	100.00	427,204	
	実施																
付帯工	予定												1,349,605	2.67	0.00	0	
	実施																
仮設工	予定												4,159,892	8.24	45.00	1,871,951	
	実施																
合計												50,484,000	100.00		28,853,062		
														出来高進捗率⑤ (%)	57.15%	50%以上認定	

「予定」と「実施」の左端は同じ地点から始めること。「実施」の長さは「予定」に対する進捗率に比例させること。(進捗率100%ならば同じ長さ、50%ならば「予定」に対し「実施」は半分の長さ。)

報告日まで「予定」と「実施」の長さは同じ。未進捗部分がある場合、報告日以降に「予定」のみ記入。(「実施」は記入しない。)

直接工事費の各工種等ごとの見積額に対する執行済額の割合を記入すること。(工程の進捗率ではないので注意。)

報告日で線を記入すること。(報告日以降は「実施」線を記入しないこと。)

直接工事費ベースの合計(入札時の工事費内訳書と同額を確認)契約額ではないので注意すること。

③ 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負代金額に占める直接工事費の2分の1以上の額に相当するものであること。

- 注1 見積額①は、直接工事費ベースで記入し、その合計は入札時に提出した工事費内訳書の直接工事費の合計と一致すること。
- 注2 構成比②は、見積額①の合計に占める各工種等毎の構成割合を記入する。端数処理上、100%にならない場合がある。
- 注3 進捗率③は、各工種等毎に報告日時点の状況を記入する。
- 注4 出来高金額④は、各工種等毎に見積額①に進捗率③を乗じて算出し、それぞれ記入する。
- 注5 出来高進捗率⑤(出来高金額合計÷見積金額合計)は50%以上であること。
- 注6 工程表の記入については、契約時に提出した工程表等に基づき作成すること。なお、工程に変更が生じた場合は、適宜変更すること。
- 注7 内容を確認後は、「1 認定」又は「2 不認定」のいずれかに○印を付け、不認定の場合はその理由を記入し、確認欄に押印後契約検査課へ送付すること。

確認欄		
総括監督員	主任監督員	監督員

※総括監督員を指名していない場合は、所属長とする。